



ジャンボなしいたけにびっくり！



夏にはホタルも見られる田んぼで稲刈り体験



数々の有機野菜や加工品



生産者さんのお話を伺いながら栗園場を見学

まちおこしの  
スパイス  
地域おこし協力隊



かわしま ひらく  
**川島 拓** 隊員  
25歳。北海道より移住。



届けたい  
笠間市の農業

「農業で生きていく」ために笠間市に移住してから半年が過ぎました。この半年は笠間市内のたくさんの生産者の方から笠間のことや農業のことを教えていただきました。

ているマルシェでは、こだわりの野菜や加工品を販売する露店が立ち並び、スーパーで売られているものとは違うものを求めてたくさんの方が集まっています。

そういった魅力的な農産物をもとに消費者のもとに届けるか。私自身も生産者を目指しながら、販路拡大や情報発信の方法を探っていこうと思います。

笠間市は日本一の栗の産地であることが浸透しつつありますが、地域を歩いてみると、生産量は多くないものの、他にはない魅力的なオンリーワンの農産物も多いことに驚きました。手のひらサイズの大きなしいたけ、新規就農者グループが作る有機野菜、地域資源を活用して栽培された自然薯、生物多様性を守る無農薬のお米など、そのどれもに生産者の強い想いと努力が表れています。

近年は生産性向上のための農業の大規模化が進んでいます。一方で手のかかったものや環境に良いものづくりにも注目が集まっています。都市部の各地で開催され



都内でマルシェに出展

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

フェイスブックもご覧ください | Facebook▶ <https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問い合わせ】秘書課(内線224)